

2011

7

No. 70

Miyakojima City  
Public Relations 広報みやこ  
じま

佐良浜漁港内



佐良浜漁港 50周年記念

各地で海神祭  
航海安全・豊漁を祈願

久松漁港 豊漁祈願



今月の主な内容

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| 市長公約進捗状況            | ・・・P2  |
| 夏の海に気をつけて！          | ・・・P7  |
| お知らせ（社会を明るくする運動 ほか） | ・・・P13 |
| さとうさび優良農家栽培技術事例     | ・・・P19 |

夏島島イメージキャラクター  
「あーや」

個別施策	主な取り組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
<b>3 農林水産業の振興</b>			
<b>《水産業》</b>			
① 土地改良事業の推進 (市実施事業)	22年度においては、ほ場整備(5地区:24.28ha)、畑地かんがい整備(2ha)を実施。(事業費 1,169,327千円)	農地整備課	H21~H24 (37%)
1) ② 農村生活環境整備、 農地等保全管理事業の 推進(市実施事業)	農村地域の振興基本理念として、「地下水を活かした豊かな美ぎ島宮古」と位置付け、地域資源循環利用の推進、減災(台風、病害虫等に強い農業の推進)、農業と観光産業の連携・農業後継者の育成、後継者の定住環境づくりをテーマに総合的な振興を図る。 【22年度に実施した主な事業】 ・村づくり交付金(3地区) 337,331千円 ・団体営農地保全整備事業(3地区) 127,088千円 ・県営農地保全整備事業(3地区) 137,248千円 ・団体営ため池等整備事業(1地区) 49,800千円 ・県営水質保全対策事業(1地区) 200,000千円	むらづくり課	H21~H24 (50%)
2) WTOに対応したサトウ キビ生産方式の検討と 関税引き下げ対策への 取り組みの強化	WTO関連等について特に取り組みは行われなかったが、政府は新たに原則すべての物品の関税を撤廃する自由貿易協定のTPP交渉への参加を目指しており、関税が撤廃された場合、農産物等に壊滅的な打撃を与える懸念があるため、JAや県等と連携しながら取り組みを進める。	農政課	H21~H24 (政府対応を注視)
3) ムツウサ等、新規商品 への支援強化	大豆の栽培技術確立を行うため、2ヶ所の実施展示を圃を設置し、実証実験を実施。事業費:200千円	農政課	H21~H23 (65%)
4) 肉用牛等畜産への支援 強化	子牛拠点産地として21年7月に県から認定。22年度は、5,651頭(前年度5,934)を出荷し、1,996,996千円(前年度1,867,485千円)の販売実績。引き続き、地域の特性を生かした産地形成に取り組む。 23年4月に肉用牛(肥育牛)拠点産地として県から認定を受けた。	畜産課	H21~H24 (50%)
<b>《林業》</b>			
1) 緑の創出の推進	地域森林計画等に基づき、造林事業を実施。 ・流域育成林整備事業:81,509千円・特定森林造成事業:16,925千円		H20~H24 (50%)
2) 防風林及び公園・緑地 用樹木の育成	平良、城辺、伊良部の3箇所の育苗センターにおいて苗木生産年間約6万本を目標に育苗を進めるとともに、植栽方法など、一般市民への啓発普及に努める。また、地域環境美化意識の高揚を図り、まちのみどりの美化に活躍している各団体の活動を支援するため、花苗などの配布を行っている。 ・緑をつくる条例推進事業300千円 ・花いっぱい推進事業809千円	みどり推進課	H20~H24 (50%)
<b>《水産業》</b>			
1) 製氷施設等水産物流通 施設の整備と流通シス テムの構築	伊良部地区佐良浜と平良地区池間において製氷施設を設置。 ・伊良部製氷施設整備事業(306,705千円):RC造 4階建、製氷20t、貯水40t、冷凍施設 ・池間製氷施設整備事業(111,723千円):RC造 3階建、製氷2t、貯水5t、冷蔵・冷蔵施設	水産課	H20~H22 (100%)
2) パヤオの増設	簡易型表中層パヤオを1基設置。		H20~H23 (65%)
3) 貝類・藻類養殖事業の 推進	クモガイ3,000個を放流し、またキリンサイの養殖試験に着手した。		H20~H22 (100%)
4) 水産業の振興・種苗供 給施設の整備	※21年度において公約目標達成済み。		H21 (100%)
<b>4 観光及びスポーツの振興</b>			
1) 市民と観光客が一緒に なると楽しめる新たな イベントの企画	現在実施中のイベントの見直しを図り、市民及び観光客が交流・体験できるような参加型イベントづくりを実施。 第1回エコアイランド宮古島マラソン大会を官民連携によりスタートさせ、エコとスポーツを一体化させたイベントとして実施。	観光課	H21~H22 (100%)
2) 海・浜を利用したレ ジャー及びイベントの 充実	観光振興基本計画を踏まえ、ビーチパレー宮古島大会やマリンダイビングフェアなどの海、浜関連のイベントの補助を行った。(補助金:2,340千円)海族まつり実行委員会を設置した。 海中公園の工事が完了し、H23年4月6日より開園。	水産課	H21~H24 (50%) H22 (100%)



# 市長公約進捗状況

下地敏彦市長は、平成21年1月25日付で第2代宮古島市長に就任しました。就任後は、政権公約として掲げた8大基本政策の具現化に向け、市民並びに関係者の皆様のご支援、ご協力の下、丁寧にスピーディーに取り組みを進捗状況は、公約目標年度における(1期4年間を100%とし、1年間で25%を目安)達成状況を示しています。(平成23年5月現在)

個別施策	主な取り組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
<b>1 市行財政組織の改革</b>			
1) 分庁方式の見直し を含めた組織 機構の効率的運 用と改革の早期 実施	支所機能の見直しを行い、城辺支所、上野支所、下地支所の二つの課をひとつに統合し、総務部統括とした。	行財政改革班	H21~H24 (75%)
2) 指揮命令系統の 徹底と責任 所在の明確化	管理監督者の責務、職員の責務について、条例に則した事務の徹底。21年度は、監督者研修会に2名、管理者研修会に1名それぞれ派遣。	総務課	H21~H24 (85%)
3) 信賞必罰の徹底	一般職員向け研修会の開催及び研修会への職員派遣。また、人事評価システムについては、23年度導入を検討。 宮古島市服務規程に沿った「服務規程Q&A」を作成し、職員への周知徹底。今後も服務規程や倫理規定の遵守徹底を図る。	行財政改革班	H21~H24 (75%)
4) 各種プロジェクトの 創出・導入 に向けた企画部 門の強化	観光商工局を新設し、市の総合産業である観光産業の振興を強化。 【観光商工局】の主な業務 ・観光施設の整備、観光事業、姉妹都市、交流都市交流事業、特産品の調査・開発等、商工業の振興、路線バス、消費者行政等、トライアスロン宮古島大会、スポーツアイランドづくり、NPO支援等。	行財政改革班	H21~H24 (75%)
<b>2 市財政の立て直し</b>			
1) 市職員数の類似 市並みにするた めの計画的縮減 の実施	21年度に策定した第2次「集中改革プラン」の中の定員適正化計画に基づき、職員数を21年度の946名から、22年度は908名に縮減。 22年度勸奨退職者は、7名。計画的職員削減を図るための一環として、22年度から、勸奨退職の促進のため、勸奨退職に関する要綱の見直しを図っている。	行財政改革班 総務課	H21~H24 (75%) H22~H24 (35%)
2) 現在実施してい る全ての事業の 総点検と見直し の推進	前期基本計画では施策ごとに目標値を設定しており、その目標値の達成状況を把握するための調査を各部局を対象に実施。 22年度から第2次集中改革プランをスタートさせ、事務事業の再編、改善等を推進。	企画調整課 行財政改革班	H21~H24 (50%) H21~H24 (75%)

個別施策		主な取組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
6)	土地改良事業の促進(国・県との事業)	国営宮古伊良部土地改良(かんがい排水)事業は、総事業費523億円のうち、22年度は12億2,200万円の事業を執行し、21年度から22年度までの合計執行額は28億1,873万円となっている。なお、22年度に実施した工事の主な概要は仲原地下ダム工事126m、伊良部導水路工事1.5km。	農地整備課	H21～H24 (50%)
7)	島全体を対象とした電線地中化の促進	22年度は、国道390号線において21,190千円で事業を実施。(総事業費900,000千円) また、県道高野西里線(平良港～北給油所まで)においては、22年度事450,014千円で事業を実施し、工事完了。(総事業費604,014千円)	都市計画課	H21～H24 (40%)
8)	下地島空港及び残地活用計画の策定	下地島空港の利活用については、沖縄県やJICA沖縄等関係機関と空港利活用に関する検討を行っている。下地島空港残地については、同用地の払い下げについて検討を行っている。	企画調整課	H21～H24 (30%)
9)	地域における伝統文化・行事等の継承・保全のための支援	市指定の無形民俗文化財の保存団体(15団体)に対し、保存のために必要な経費の一部について、補助金を交付。(1団体:50千円)	生涯学習振興課	H20～H24 (50%)
10)	拝所等の整備促進	市指定の拝所、御獄の管理自治会に対し、保存のために必要な経費の一部について、補助金(1,000千円)の交付を行った。	企画調整課	H20～H24 (50%)
		腰原、富名腰、七原地区の御獄、古井戸等9箇所の整備を行った。		H22 (100%)
<b>8 施政方針及びマスコミ等で発表した公約政策</b>				
1)	エコアイランド宮古島の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>国、県の政策動向を踏まえ、環境モデル都市を更に加速させ、国内外へ発信普及できるプログラムとして再構築するため、島内外の有識者による「島嶼型低炭素社会システム構築委員会」を設置し、今後の具体的な推進方策をまとめた。(事業費7,443千円)</li> <li>「宮古島市地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定等事業委託業務」運輸部門における、電気自動車及びバイオ燃料によるグリーンエネルギー自動車普及のビジョンを作成。(委託費3,517千円)</li> <li>「島嶼型低炭素社会システム構築委員会報告書」及び「地域新エネルギービジョン・省エネルギービジョン策定」概要版(パンフレット)を全世帯に配布。(総事業費420千円)</li> <li>シンポジウム「スマートコミュニティで目指すエコアイランド宮古島」を開催し、宮古島のエネルギー関連の取り組みと今後の展開について、講演、施設見学を通して理解を深めた。(総事業費1,300千円 参加者81名)</li> <li>省エネ型住宅(エコハウス)を市民や島外者に対し解放し、建築工程及び建物の性能を周知すると共に、実生活に近い状態での宿泊体験を通し、エコハウスの工夫を島内外に発信。(事業費2,072千円 見学者603名 宿泊者71名)</li> <li>22年度中に公共的地下水利用施設管理者との協議を3回(会議2回、文書1回)及び、地下水審議会1回、同審議会学術部会4回の審議を経て、第3次宮古島市地下水利用基本計画案を策定し、23年3月の議会にて上程、可決される。(委託料9,345千円)</li> </ul>	エコアイランド推進課及び全部署	H20～H24 (85%)
2)	国民健康保険税率の見直し	国保税負担軽減を図るため、国民健康保険税条例の一部を改正し、21年度に引続き国保税率の引き下げを実施。 所得割(全体)14%→12.45% 資産割(全体)49%→42.80% 均等割(全体)30,000円→26,800円 平均割(全体)24,800円→22,500円	国民健康保険課	H21～H22 (100%)
3)	県営公園早期整備への要請活動	県と市町村連絡会議において、県立広域公園整備事業を早急に整備し、宮古圏域の活性化を図るよう要望した。また、整備にあたっては、運動公園としての整備を図ってもらうよう要請中。	都市計画課	H21～H24 (30%)
4)	市陸上競技場の改修	「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し、改修工事を行った。(229,000千円)	市民スポーツ課	H21～H22 (100%)
5)	高齢者が生き生きと暮らせるための支援強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>21年度に引続き、敬老祝い金の支給を行った。</li> <li>宮古島老人クラブ連合会に対し、老人の孤独死防止を図るための見守り事業及び連合活動運動運営資金の助成を行った。</li> <li>老人クラブ単位の活動に対し、活動資金として助成を行った。</li> </ul>	介護長寿課	H21～H24 (50%)

個別施策		主な取組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
3)	児童・生徒・市民の健康促進のための市体育協会の育成強化	宮古体育協会に所属する各団体に対し、21年度に引き続き、22年度も補助金を継続補助した。 補助金:(H21)14,000千円、(H22)→14,000千円	市民スポーツ課	H21～H24 (50%)
4)	環境未来税の新設による観光、健康施設の整備充実	22年度は、関係資料の収集と調査等に努めた。23年度は「庁内検討委員会」を開催し、25年度の導入に向けてのスケジュール等の検討を進める。	企画調整課	H21～H24 (30%)
<b>5 医療・福祉の充実</b>				
1)	県立宮古病院の新築促進と市休日夜間救急診療所の併設	これまでの県との調整過程を経て、予定地の旧農林高校グラウンド敷地内の体育館の解体・撤去が完了し、本格的な工事に着手。総事業費約65億円。本市としても25年5月開院を目指し、県が進める建設スケジュールが円滑に進むよう協力する。 移転新築する宮古病院内において、市休日夜間救急診療所を併設することが決定し、建築費用は地域医療再生事業により10/10国庫負担となった。病院全体と同時に22年度で実施設計も終了。	企画調整課	H21～H24 (30%)
2)	託児所及び保育所等幼児対象施設の整備・支援強化	※21年度において公約目標達成済。	健康増進課 児童家庭課	H21～H24 (30%) H21 (100%)
3)	長寿医療制度(後期高齢者医療制度)の充実強化の促進・支援強化	健診事業については、22年度より運営主体が市町村から後期高齢者医療広域連合に移行されたため、自己負担分助成については後期高齢者医療広域連合が行っている。22年度は、チラシ配布や広報みやこじまへ掲載するなど健診への啓発に力を入れた結果、受診率を30%まで引き上げた。(20年度受診率19%、21年度受診率24%)	国民健康保険課	H21～H24 (50%)
<b>6 教育の充実</b>				
1)	小・中学校の統合も含めた地域教育の在り方の検討	23年度より池間小学校・中学校が併置校としてスタートすることになった。8回の学校規模適正化検討委員会の開催と8回の住民懇談会を開催し、学校規模適正化に関する答申を行った。	教育総務課 教育施設課 学校教育課	H22～H24 (50%)
2)	豊かな心を育む学校教育費の大幅増額の実施	ひかりをそぞぐ交付金を活用し、小・中学校図書館の蔵書を増やし、児童生徒の読書活動の充実を図った。(17,383千円) 特別支援教育支援者を7名に増員し、対象児童生徒の個別の教育的ニーズに対応した。(7,200千円)児童生徒の県内外への派遣補助費の基準を、市の大会で準優勝以上から3位以内へと拡大することで、より多く児童生徒に対し補助を行い、保護者の負担軽減を図った。(17,049千円)	学校教育課	H21～H24 (50%)
<b>7 宮古島活性化のためのプロジェクト推進</b>				
1)	天然ガスを活用したコンビナートの建設	22年度においては、国内における天然ガス開発の拠点(千葉県)の調査・視察を行った。23年度には、「宮古島における天然ガス資源調査」が4月25日～6月10日の間行われた。調査範囲は宮古島全域で、東西北に調査用の側線を基盤の目状に区切り、起震車(パイロサイズ車)でおおよそ地下2,000mを調査した。	エコアイランド推進課	H21～H24 (30%)
2)	温泉水を利用した保養及びリハビリ施設の誘致	天然ガス活用検討委員会を立ち上げ、委員会を2回、市民への周知と啓蒙のため、セミナーを1度開催予定。将来的には温泉や温浴施設をつくる民間事業所に情報を提供して誘致につなげる方針。	エコアイランド推進課	H21～H24 (賦存量調査結果に基づき対応する)
3)	伊良部大橋建設の促進	22年度3月末の進捗率は、全体で78%となっているが、耐久性等の問題により工事が1年間遅れることになったことから、国・県に対し早期完成を働きかける。	企画調整課	H21～H24 (78%)
		伊良部大橋建設事業の円滑な促進及び開通後の振興策の具体化を図っていくため、地元支援団体とともに、県と連携して取り組んだ。23年度以降も引き続き県及び関係機関との協議を進めていく。	道路建設課	
4)	中小企業への支援促進	宮古島市小口資金融資制度により、事業を営む小規模企業者の資金需要に対処し、H22年度は3件の申請を認可。	商工物産交流課	H21～H23 (60%)
5)	特色あるホテル建設の促進	環境モデル都市の指定を受け、低炭素社会の実現を促進するため、太陽光、天然ガスなどの新エネルギーを活用した宿泊施設の建設について啓発活動を23年度より展開。また、温泉水を活用したクアハウス併設の宿泊施設建設を促進していく。	企画調整課	H23～H24 (H23年度より事業着手)

# 夏の海に気をつけて！

平成 23 年水難事故防止運動実施中  
4 月 22 日～8 月 31 日



これから夏場に向け海でのレジャーを楽しむ機会が増えてきます。  
海でのレジャーの際には、水難事故の危険性を十分認識し、事故防止のための注意事項を必ず守ってください。

## 水難事故を防ぐために

保護者(大人)は

- 子どもだけの遊泳はさせない
- 同伴時には、子どもから目を離さない
- ボート等に乗るときは、ライフジャケットを着用させる
- 事故が発生したら、近くの大人に助けを求めるよう教育しておく

子ども達は

- 海に行くときは、大人と一緒にいこう
- 天気が悪い日は海に入らないようにしましょう
- 足がつく安全な深さで泳ぐようにしましょう
- 体の調子が悪いときは泳ぐのをやめよう
- おぼれた人を見かけたら、すぐに近くの大人に助けを求めよう

## シュノーケリング中の事故を防ぐため、下記の安全対策五原則を守りましょう

### シュノーケリングの安全対策五原則

1. 浮力の確保  
ライフジャケット、ウェットスーツを着用すること
2. 単独で泳がない  
バディーシステム(二人一組)で海に入ること
3. 自己流は危険  
シュノーケリング機材の基本を習得してから始めましょう
4. 飲酒・体調不良は事故のもと  
飲酒してのシュノーケリングは自殺行為
5. 泳ぐ場所の確認  
危険な海域では絶対に泳いではいけません

水難事故防止運動標語  
『青い海 いつも心に 初心者マーク』  
『水の事故 ゼロにしたいね 海の邦』  
『行っちゃダメ たった一人で 海や川』

## 宮古島市における水難事故の推移

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
発生件数	3	10	7	5	5	4	6	6	6	7	6
(うち観光客数)	3	1	0	2	1	2	4	3	3	4	2
水死者数	1	5	4	3	4	3	4	5	6	4	4
(うち観光客数)	1	1	0	2	1	1	3	2	3	2	1
シュノーケルによる死亡者数	1	1	0	0	1	0	2	2	2	1	1
(うち観光客数)	1	1	0	0	1	0	2	2	2	1	1

お問い合わせ 宮古島市水難事故防止推進協議会 ☎ 72-3751(内線 155)

個別施策	主な取り組み内容	担当課名	目標年度(進捗状況)
6) 安全・安心な教育環境の充実	22 年度の子ども教室実施数は 12 教室、576 回開催し、延べ 16,014 人の児童が参加した。また、地域の安全管理員及び学習アドバイザー(延べ 2,304 人)やボランティア(延べ 480 人)を配置し、放課後の子どもたちの安全に配慮しながら、体験活動や学習活動を指導するとともに異年齢交流を図った。	生涯学習振興課	H21～H24 (50%)
7) 心豊かな生涯学習教育の実現	生涯学習フェスティバルを開催し、市民一人ひとりが学習成果の舞台発表や創作展示、活動報告などを行い、生涯学習に対する意識の向上を図った。また、3 個人に対し、社会教育功労表彰を行った。	生涯学習振興課	H21～H24 (50%)
	8 力所の市立公民館(中央、城辺、上野、下地、伊良部、下崎、西原、久松)において、それぞれの地域住民のニーズに応じた各種講座(計 77 講座)を開設し、延べ 8,631 人が受講した。23 年度以降も地域に根ざした各種講座を引き続き実施する。	中央公民館	H21～H24 (50%)
8) 新エネルギー資源の活用推進	24 年度以降の「宮古島市子ども劇団」設立を目指し、検討委員会やワークショップを開催し取り組みを進める。	文化ホール	H23～H24 (—)
	・23 年度の内閣府予算事業「沖縄スマートエネルギーアイランド基盤構築事業」を活用し、再生可能エネルギーの効率利用による「島嶼型スマートコミュニティ」実現に向けた実証実験を行うべく、国・県や沖縄電力などの関係機関と調整を進めた。その結果、23 年度より実証事業に着手することになった。 ・市内全体を次世代エネルギーパークとして位置付けた計画の認定を受け、平良庁舎に展示設備を一部設置。	エコアイランド推進課	H21～H24 (50%)
9) ごみ処理施設の早期建設	22 年度は、環境影響評価方法書に基づき現況調査及び分析を行った。23 年度は準備書及び評価書、都市計画決定手続きを実施予定。また、建設予定地周辺の合意形成を図り工事着手に向け取り組む。	環境施設整備室	H20～H24 (60%)
10) 葬斎場の早期新設	21 年度に葬斎場建設工事に着工し、22 年度は本格的工事に取り組み全工事を完了。23 年 5 月 16 日より供用開始。		H20～H22 (100%)
11) 新図書館移転新築の調査・検討	地域アーカイブ計画準備作業・図書館電算システム計画準備作業・新図書館建設に向けた図書館情報学教授による講演会を開催した。	中央図書館建設準備室	H21～H24 (27%)
12) 水道事業の整備促進	宮古島本島より伊良部島への送水工事及び需要水量に対応するための配水管工事を行った。	上下水道部総務課	H21～H24 (29%)
13) 道路・港湾・下水道施設の整備促進	22 年度は、2 路線が事業完了しており、児童生徒の安全確保のための歩道設置を確保。道路整備事業の円滑な推進を図るため、今後も道路整備の計画及び実施に向けて取り組む。	道路建設課	H21～H24 (58%)
	国に対して 23 年度新規着工に向け要請活動を行った。	港湾課	H23～H24 (—)
14) 消防機能の充実	18 年度宮古島市公共下水道事業計画の変更により、竹原地区土地区画整理事業が具体化したことから、その周辺区域を含め 104ha の区域を事業認可区域に追加し、385ha に拡大した。21 年度末 125ha であった整備面積を、22 年度には 134ha に拡大。	下水道課	H21～H24 (35%)
	沖縄県消防学校・消防大学校における各種教育及び救急救命研修所における救命士養成等に職員 13 名を派遣し、技術力の向上を図った。	消防本部総務課	H21～H24 (50%)
	※ 21 年度で公約目標達成済み。(海難救助を行うための水難救助資機材(ボート)を伊良部支所に配備。)		H21 (100%)
※ 21 年度において公約目標達成済み。(消火栓の未整備地域を中心に整備を実施することにより、火災事案に対し迅速な水利確保を達成し、被害の軽減を図るため、平良・下地・上野地区(4 箇所)、伊良部地区(8 箇所)を整備した。)		H21 (100%)	
15) 市総合庁舎建設	22 年度は、新庁舎建設庁内検討委員会を立ち上げ、委員会を開催し、定員適正化計画や中期財政計画を踏まえた上で、行政サービスの観点から支所を含めた現庁舎の問題点等を洗い出し、建設の是非について議論を開始。H23 年度も引き続き議論を深めていく。	企画調整課	H22～H24 (25%)

今後も、宮古島市はこの推進計画の実現に向けて鋭意取り組んでいきます。推進計画内には、複数年かけて行う事業が多数あります。このような長期の事業を計画通りに実行していくため、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

宮古島市長 下地 敏彦

※ 本推進計画は市ホームページ(<http://city.miyakojima.lg.jp>)でも紹介しています。

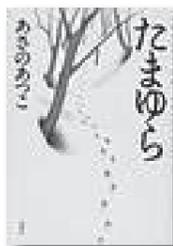
お問い合わせは各担当課又は企画調整課まで ☎ 72-3751

図書館は、宮古島市民のどなたでも無料で利用できます。お気軽にお越し下さい。  
お知らせ

平良図書館・城辺図書館・北分館の図書館システムが7月1日より統合されました。1枚の利用カードで、どの宮古島市立図書館でも、図書、雑誌、視聴覚資料を借りたり、返却ができるようになります。貸出冊数は、3館合わせて、図書や雑誌5冊まで、紙芝居2資料、視聴覚資料2資料までです。平良図書館と城辺図書館、両方の図書館で利用カードを登録している方は、どちらかのカードを図書館まで返却くださるよう、お願いいたします。

城辺図書館 (77-8813)

一般書



- ☆たまゆら あさの あつこ / 著
- ☆ブツはなぜ腹がたたないの 島田 裕巳 / 著
- ☆「昨日の疲れ」が抜けなくなったら読む本 西田 真規 / 著
- ☆論理的思考のための数学教室 小田 敏弘 / 著
- ☆夏の花スケッチ 田代 知子 / 著

児童書



- ☆乗り越える力 荒川 静香 / 著
- ☆わすれんぼうにかんぱい！ 宮川ひろ / 著
- ☆おたんじょうびまであとなんにち？ アンバー・シュアート / 文
- ☆カエルの目玉 日高敏隆 / 文
- ☆しぜんのきょうかしょ 佐巻健男 / 著

平良図書館 (72-2235)

一般書



- ☆福島原発事故 安斎育郎 / 著
- ☆隅の風景 恩田 陸 / 著
- ☆ニッポンの農力 日本経済新聞社 / 編
- ☆ヘッドライン 今野 敏 / 著
- ☆病気知らず！ゆがみとり背骨体操 松岡博子 / 著

児童書



- ☆いちねんせいのいたーだきます！ 北川 チハル / 作
- ☆知ってびっくり！ことわざはじまり物語 鈴木 あゆみ他 / 文
- ☆みても、いい？ 磯 みゆき / 作
- ☆なぞなぞおめでとう スズキコージ / 絵
- ☆とくべつなお気に入り エミリー・ロッダ / 作

北分館 (72-2317)

郷土資料

宮古・沖縄関係の本や新聞をお探しの方は、北分館をご利用ください。



- ☆統べる島 池上 永一 / 著
- ☆琉球列島 マングローブと生き物探しの旅 久保田 鷹光 / 著
- ☆組長をカタギに変えた犬 玉那覇 葉音 / 著
- ☆沖縄イメージを旅する 柳田國男から移住ブームまで 多田 治 / 著



- ☆あたたかい土地の人々の暮らし 吉田 忠正 / 著
- ☆中国が沖縄を獲る日 黄 文雄 / 著
- ☆沖縄三線で歌う童謡唱歌集 小林 渡 / 著
- ☆読み語り読本 沖縄のはなし 新城 俊昭 / 著
- ☆しぜんのきょうかしょ 佐巻 健男 / 著



ハンセン病市民学会 in 名護・宮古島交流集会

ハンセン病市民学会の宮古島交流集会が5月20日に県内外から200人余りが参加して開かれました。

同集会では、「いまぬけだそう！手をつなぎ共に生きる社会へ」をテーマに、ハンセン病への理解を深め、差別の無い共に生きる社会のあり方について訴えました。

また、参加者は、園内にある壕、井戸、弾痕の残る塀などを見てまわり戦時中の生活などについて説明を受けました。

日中グリーンエキスポ 2011 で宮古島市の取り組み発表

6月1日～3日に中国北京市で開かれた「日中グリーンエキスポ2011」で下地市長が宮古島市の環境モデル都市行動計画の取り組みを発表しました。会議には、日中両企業、自治体、研究機関などが参加し、互いの情報の共有やより良い環境施策の実現に向けて討議が行われました。

中国では都市部の環境対策、農村部の雇用対策などの問題があり、宮古島市の取り組みに対し参加者は興味を示していました。



伊良部佐良浜地区で土砂災害・全国統一防災訓練

伊良部地区佐良浜地区で土砂災害・全国統一防災訓練を6月12日に実施しました。同地区は県の急傾斜地崩壊危険箇所指定されており、万が一に備え、市、消防本部、宮古島警察署、宮古島地方気象台、住民が参加し住民避難、情報伝達、炊き出しなどの訓練を行いました。

宮古島を疾走

～第4回 ツール・ド・宮古島 2011～

6月18日、19日の両日「第4回ツール・ド・宮古島2011」が開催されました。18日にはサイクリングの部、19日には、ロードレースが行われました。ロードレースの100キロに334人、160キロに141人が参加し、照りつける太陽のもと、宮古島の風景を楽しみながら走る選手、上位を狙う選手などそれぞれの思いで初夏の宮古島を走っていました。

レース結果は、160キロはフリーマントル選手が初優勝、女子は塩野選手が大会3連覇、100キロは福島選手、女子は高嶺選手がそれぞれ初優勝となりました。



うまんがい！がまんがい！

宮古島の話題



【The Topics】

